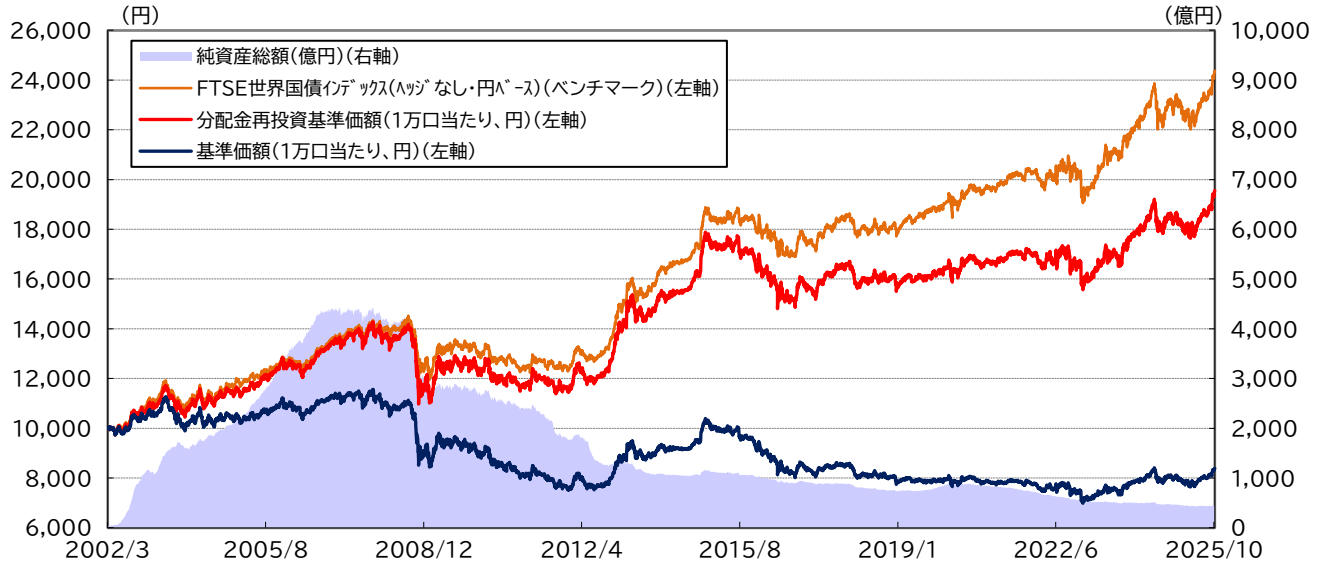
ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)

追加型投信／内外／債券

設定来の基準価額の推移



※基準価額は1万口当たり、作成基準日現在、年率1.155%(税抜1.05%)の信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。設定日前営業日を10,000として
SBI岡三アセットマネジメントが指数化しております。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

基準価額	8,393 円
純資産総額	444.1 億円

※基準価額は1万口当たりです。

ポートフォリオ構成比率	
株式	0.0%
(内国内株式)	(0.0%)
(内外国株式)	(0.0%)
(内先物)	(0.0%)
公社債	94.9%
(内国内公社債)	(9.6%)
(内外国公社債)	(85.3%)
(内先物)	(0.0%)
短期金融商品その他	5.1%
マザーファンド組入比率	99.5%
組入銘柄数	28銘柄

※マザーファンドを通じた実質比率です
(マザーファンドの組入比率を除く)。

騰落率	1ヵ月前	3ヵ月前	6ヵ月前	1年前	3年前	設定来
分配金再投資基準価額	3.18%	5.09%	9.18%	5.54%	17.95%	95.56%
ベンチマーク	3.12%	5.24%	9.34%	5.61%	19.46%	143.67%

※騰落率は、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の各月の25日(休業日の場合は翌営業日)、
および設定日との比較です。ベンチマークの騰落率は、当該日前営業日の現地終値を基に算出しております。
※分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。
※ベンチマークの騰落率は、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメントが算出しております。
※ベンチマークとはファンドの運用の目標基準を表しており、運用実績を測定し評価する際に用いる指標です。

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)(以下、「当ファンド」といいます。)の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社(以下、総称して「LSEグループ」といいます。)は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。
FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)(以下、「本指数」といいます。)にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。
本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a)本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b)当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

設定来分配金合計	7,717 円

過去1年間の分配実績　(1万口当たり・税引前)

決算日	分配金	決算日	分配金	決算日	分配金
2024/11/25	10円	2025/03/25	10円	2025/07/25	10円
2024/12/25	10円	2025/04/25	10円	2025/08/25	10円
2025/01/27	10円	2025/05/26	10円	2025/09/25	10円
2025/02/25	10円	2025/06/25	10円	2025/10/27	10円

※毎月25日(休業日に該当する場合は翌営業日)に決算を行い、主として配当等収益等から収益分配を行います。
※運用状況等によっては分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)
追加型投信／内外／債券

投資環境

＜投資対象国の債券利回りと為替相場＞

	10年国債利回り(現地引値)			為替相場		
	2025/9/25	2025/10/27	変化幅	2025/9/25	2025/10/27	変化率
アメリカ	4.15%	4.00%	-0.15%	148.77	153.00	2.8%
カナダ	3.20%	3.09%	-0.11%	107.07	109.38	2.2%
オーストラリア	4.29%	4.14%	-0.15%	98.04	99.97	2.0%
日本	1.65%	1.67%	0.02%	-	-	-
ドイツ	2.75%	2.63%	-0.12%	174.69	178.00	1.9%
フランス	3.57%	3.43%	-0.14%	174.69	178.00	1.9%
イタリア	3.57%	3.42%	-0.15%	174.69	178.00	1.9%
イギリス	4.67%	4.43%	-0.24%	200.13	203.84	1.9%

※海外の10年国債利回りは、当該日の現地前営業日の引値です。為替相場は作成基準日当日の評価レートです。

(出所:BloombergデータよりSBI岡三アセットマネジメント作成)

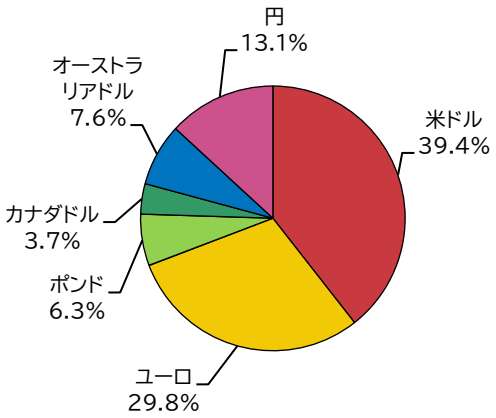
マザーファンドの状況

＜ポートフォリオの内訳とベンチマーク構成対比＞

国名	当ファンド構成比	ベンチマーク構成比	ベンチマーク差異
アメリカ	38.9%	41.8%	-2.9%
カナダ	3.7%	1.8%	1.9%
オーストラリア	7.5%	1.1%	6.4%
日本	9.7%	9.4%	0.3%
ドイツ	10.9%	5.3%	5.6%
フランス	6.9%	6.6%	0.3%
イタリア	11.5%	6.2%	5.3%
イギリス	6.3%	5.2%	1.1%
非投資対象国(ユーロ圏)	0.0%	9.1%	-9.1%
非投資対象国(その他)	0.0%	13.6%	-13.6%
短期金融商品・その他	4.6%	0.0%	4.6%

※ベンチマークの構成国のうち、当ファンドが投資対象国としていない国については「非投資対象国(ユーロ圏)」「非投資対象国(その他)」として分類しております。「短期金融商品・その他」のその他には、各通貨毎の未収利息等が含まれます。

＜通貨別投資比率＞



※通貨別投資比率は、各通貨毎の保有債券に未収利息等を加えたものです。また、作成基準日における純資産に対する各通貨残高の比率で、基準日に未決済の為替取引は含まれておりません。

＜ポートフォリオの特性＞

保有債券の平均最終利回り	3.38%
ファンド全体のデュレーション	7.43年
ベンチマークのデュレーション	6.72年

※デュレーションとは投資元本の平均回収年限のことを言い、対象債券のクーポンが同じであれば残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。また、金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。

＜保有債券の信用格付別構成比＞

AAA	22.2%
AA	52.0%
A	9.7%
BBB	11.5%
短期金融商品・その他	4.6%

※信用格付は主要な信用格付業者等の信用格付を基に記載しています。

※各比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)
追加型投信／内外／債券

パフォーマンス情報

＜パフォーマンス情報(作成基準日現在)＞

	過去1年	過去3年
トータルリターン(年率)	5.54%	5.66%
標準偏差	6.19%	7.34%
シャープレシオ	0.83	0.75

※決算日(月次)のデータを基にSBI岡三アセットマネジメントが作成しております。
※トータルリターンは分配金(税引前)を再投資したものとして複利計算しております。

ファンドマネージャーのコメント

第283期 (2025年9月26日～2025年10月27日)

＜投資環境＞

海外の債券市場では、米中対立の激化懸念や、米連邦準備制度理事会(FRB)による量的引き締め(QT)の早期停止観測の台頭などを背景に、米国債を中心に利回りが低下(価格は上昇)しました。イギリスでは、消費者物価指数が市場予想を下回ったことが利回り低下の要因となりました。国内債券市場では、自民党総裁選で高市氏が勝利したことを受け、財政拡大への懸念が強まり、長期債利回りが上昇(価格は下落)しました。しかしその後、公明党の連立離脱や日本維新の会との連立発表、高市首相誕生、組閣に至る過程で、過度な財政拡大への懸念が徐々に和らぎ、長期債利回りは上げ幅を縮小しました。

為替市場では、自民党総裁選での高市氏勝利を受け、10月上旬には円が投資通貨に対して全面安となりました。その後、米中対立の激化懸念や、米地銀2行の不正疑惑に絡む融資問題が発覚したことなどを背景に、円が反発する場面も見られました。しかし、作成基準日にかけては、世界的な株高を背景に投資家のリスク選好姿勢が強まる中で、再び円安が優勢となりました。この結果、当期間においては、投資しているすべての外国通貨が対円で上昇しました。

＜運用経過＞

当ファンドは「ワールド・ソブリンインカム　マザーファンド」に投資し、同ファンドへの投資比率を概ね99%台で推移させました。

「ワールド・ソブリンインカム　マザーファンド」の運用経過は以下の通りです。

ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、6.26年～7.71年の範囲内での推移となり、7.43年で作成基準日を迎えました。当期間においては、米国債と日本国債の長期ゾーンの投資比率を高めることにより、デュレーションを長期化しました。また、通貨別配分では、カナダドルとオーストラリアドルの投資比率を引き下げる一方、円の投資比率を引き上げました。

なお、当ファンドの収益分配金に関しては、分配原資の状況、ファンドの収益力、基準価額の水準、市場動向等を総合的に勘案し、1万口当たり10円(税引前)とさせていただきました。

＜今後の運用方針＞

海外の債券市場では、FRBが利下げを継続する一方で、他の主要中央銀行は利下げに対して慎重な姿勢を強めつつあり、当面は現状水準を中心とするもみ合い局面が続くと想定しています。一方、米国においては、個人向けローンの延滞率が総じて上昇傾向を示す中、地銀2行の不正疑惑に絡む融資問題が発覚するなど、クレジット市場に対する警戒感が強まりつつあります。足元では、世界的な株式市場の高値更新を背景に投資家のリスク選好姿勢が強まっていますが、センチメントが急速に悪化した場合には、「質への逃避」の動きから、米国を中心に各国の国債利回りが低下する展開も想定されます。国内債券市場では、日銀による早期利上げ観測を背景に、中短期債を中心とした緩やかな利回り上昇(価格は下落)が続くと予想しています。ただし、高市政権に対する過度な財政拡大懸念は後退していることから、当面、長期債および超長期債の利回り上昇余地は限定的にとどまると判断しています。

為替市場では、国内投資家による堅調な海外株式投資などを背景に、4月以降は円安基調が続いています。今後は、日米の金融政策スタンスの違いや利益確定に伴う円買いの動きなどから、一時的に対ドル中心に円高方向へ振れる局面も想定されます。もっとも、日銀が早期利上げに踏み切ったとしても、政策金利がインフレ率を大幅に下回る状況が続くと見込まれることから、円高圧力は引き続き限定的にとどまると判断しています。

以上のような投資環境を踏まえ、債券のポートフォリオに関しては、各国の景気・物価動向、クレジット市場の動向、金融・財政政策、通貨の強弱などを勘案して国別配分やデュレーションを調整する方針です。通貨配分に関しては、当面、現状を維持する方針ですが、投資環境に大きな変化があった場合には機動的に修正する考えです。

なお、上記の運用方針は、あくまで現在の投資環境の下で想定したものであり、投資環境に大きな変化があった場合は、運用方針を変更することがありますのでご了承ください。

※ 今後の運用方針等は、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。また、市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)
追加型投信／内外／債券

ファンド情報

設 定 日	2002年3月26日
償 還 日	原則として無期限
決 算 日	毎月25日(休業日の場合は翌営業日)

ファンドの特色(1)

1 日本を含む主要先進各国のソブリン債(国債および政府保証債等)に投資を行います。

●実際の運用はワールド・ソブリンインカム マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて行います。日本を含む主要先進各国のソブリン債(国債および政府保証債等)に分散投資し、リスク分散を図ったうえで、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

ソブリン債とは

各国政府や政府機関が発行する債券の総称です。また、世界銀行やアジア開発銀行などの国際機関が発行する債券もこれに含まれます。

主な投資対象国

アメリカ、カナダ、オーストラリア、フランス、ドイツ、イタリア、イギリス、日本
※上記すべての国に投資するとは限りません。また、投資対象国は今後変更される場合があります。

2 国別投資比率・デュレーションの調整を行います。

●国別投資比率、デュレーションの決定および調整は、ファンダメンタルズ分析を中心に、為替予測、金利予測およびイールドカーブ分析に基づいて行います。

デュレーションとは

金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。

ファンドの特色(2)

3 ベンチマークを上回る投資成果を目指します。

●FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。

ベンチマークとは

ファンドの運用実績を測定し、評価するための基準・指標のことです。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)とは

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

●このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

4 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

●分配方針

毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

分配金の支払いイメージ

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

●分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。
(ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益(評価益を含みます。)を含みません。)
●分配対象額の範囲内で、1万口当たり1円単位で安定的な分配を行うことを基本とします。
●分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。

※分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

収益分配金に関する留意事項

●ファンドの分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われます。分配金が支払われると、その金額相当分、ファンドの純資産が減少するため、基準価額は下がります。

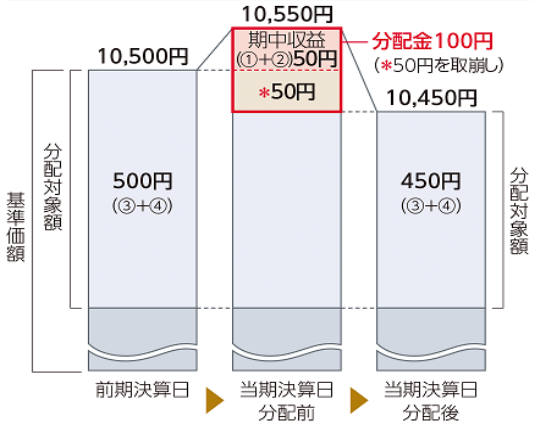
※分配金の有無や金額は確定したものではありません。

ファンドで分配金が支払われるイメージ

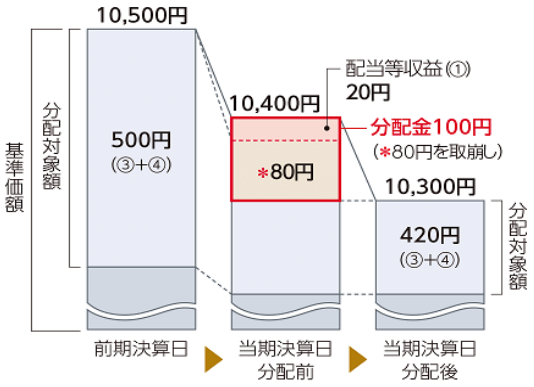
●分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)の中から支払われる場合と、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合のイメージ

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



分配対象額	①経費控除後の配当等収益　②経費控除後の評価益を含む売買益　③分配準備積立金　④収益調整金

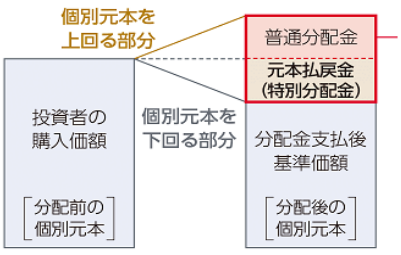
分配準備積立金
期中収益(①+②)のうち、決算時に分配に充てずファンド内部に留保した収益を積み立てたもので、次期以降の分配金に充てることができます。

収益調整金
追加購入により、既存投資者の分配対象額が希薄化しないようにするために設けられたものです。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

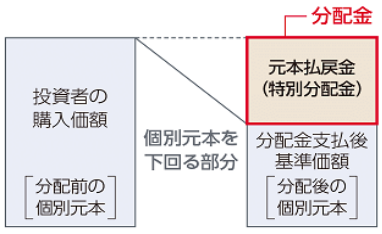
●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金
個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)
個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等<ファンドの費用・税金>」をご参照ください。

(注)「ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)」の分配対象収益の範囲には、売買益(評価益を含みます。)を含みません。

基準価額の変動要因

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
ファンドは、主要先進各国の国債等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

●主な変動要因

金利変動リスク
金利は、経済環境や物価動向、金融政策、経済政策等を反映して変動します。一般に、金利が上昇した場合には債券の価格は下落し、金利が低下した場合には債券の価格は上昇します。

為替変動リスク
外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。

●その他の変動要因

信用リスク、カントリーリスク

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

投資リスク(2)

その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)
追加型投信／内外／債券

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払い下さい。 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
換金単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
申込締切時間	原則として、購入・換金の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
換金制限	ありません。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消すことがあります。
信託期間	原則として無期限(2002年3月26日設定)
繰上償還	受益権口数が10億口を下回ることとなった場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。
決算日	毎月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は、税金を差し引いた後、決算日の基準価額で再投資します。
信託金の限度額	2兆円
公告	原則として、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。 https://www.sbiokasan-am.co.jp
運用報告書	3月、9月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて交付します。

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)
追加型投信／内外／債券

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)に、販売会社が独自に定める購入時手数料率を乗じて得た額 **購入時手数料率の上限は、2.2%(税抜2.0%)です。** 購入時手数料率は変更となる場合があります。 ワールド・ソブリンインカム(1年決算型)(愛称 十二単衣(1年決算型))からのスイッチング(乗換え)により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、申込手数料の一部又は全部の割引を受けられる場合があります。詳しくは販売会社にご確認下さい。	ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。
信託財産留保額	**ありません。**	

投資者が信託財産で間接的に負担する費用				
運用管理費用(信託報酬)	**純資産総額×年率1.155%(税抜1.05%)**			
	純資産総額	委託会社 委託した資金の運用の対価です。	販売会社 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。	受託会社 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	100億円以下に係る部分	年率0.50%(税抜)	年率0.50%(税抜)	年率0.05%(税抜)
	100億円超300億円以下に係る部分	年率0.40%(税抜)	年率0.60%(税抜)	年率0.05%(税抜)
	300億円超に係る部分	年率0.30%(税抜)	年率0.70%(税抜)	年率0.05%(税抜)
その他費用・手数料	監査費用:純資産総額×年率0.0055%(税抜0.005%) 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。 ※運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。			

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産から支払われます。その他費用・手数料(監査費用を除きます。)はその都度、投資信託財産から支払われます。

※ファンドに係る手数料等につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

委託会社および関係法人の概況

委　託　会　社　SBI岡三アセットマネジメント株式会社　(ファンドの運用の指図を行います。)

金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第370号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

受　託　会　社　株式会社りそな銀行　(ファンドの財産の保管及び管理を行います。)

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)

追加型投信／内外／債券

販売会社について

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
共和証券株式会社	関東財務局長(金商)第64号	○	○		
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
ばんせい証券株式会社	関東財務局長(金商)第148号	○			
二浪証券株式会社	四国財務局長(金商)第6号	○			
北洋証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○			
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			
(登録金融機関)					
株式会社関西みらい銀行	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社紀陽銀行	近畿財務局長(登金)第8号	○			
近畿産業信用組合	近畿財務局長(登金)第270号	○			
株式会社三十三銀行	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社徳島大正銀行	四国財務局長(登金)第10号	○			
PayPay銀行株式会社	関東財務局長(登金)第624号	○		○	

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)

追加型投信／内外／債券

委託会社 お問合わせ先	電話番号 03-3516-1300(営業日の9:00～17:00)	ホームページ https://www.sbiokasan-am.co.jp

ご注意

- 本資料はSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。投資信託説明書(交付目論見書)の交付場所につきましては「販売会社について」でご確認ください。
- 本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。